２　平成１８年度事業活動内容

事　　項	実施月	事　業　活　動　の　内　容
１．組織の充実		
1.会員会費取扱会議	6月29日 7月　4日 (2回)	民生・児童委員協議会、募金委員会、町会、自治会等より推薦頂いた方々をほのぼのネット員（旧福祉協力員）として委嘱し、会員の増強、会費の収納等の依頼を東・西の２地区に分けて行いました。平成18年度、ほのぼのネット員473名中、旧福祉協力員は208名です。
2.会員増強運動	7月1日～ 8月31日	7～8月を会員増強の期間として設定し、ほのぼのネット員(旧福祉協力員）を中心に、市民に協力を呼びかけるとともに、町会、自治会の協力を得て実施しました。 ・新規加入会員　318件 ・退会会員　849件 ・実質会員増減　531件減 ・年度末会員数　9,165件 ・会費収入額　7,406,500円(前年度比175,000円減)
２．連絡調整		
1.関係機関､団体等との連絡調整	随時	本協議会の事業運営に関する事項について、下記の関係機関、諸団体、グループ等と密接な連絡調整を行いました。 (1)三鷹市健康福祉部 (2)三鷹市教育委員会 (3)東京都社会福祉協議会 (4)東京ボランティア・市民活動センター (5)他地区社会福祉協議会 (6)北多摩南部ブロック社会福祉協議会 (7)三鷹市民生・児童委員協議会 (8)三鷹市募金委員会 (9)市内各障がい者団体 (10)三鷹市ボランティア連絡協議会 (11)ボランティアグループ (12)地域住民協議会 (13)三鷹市市民協働センター (14)シルバー人材センター (15)その他の関係団体
３．普及宣伝		
1.機関誌等発行	随時	1.「ゆりかご」　(1回)　10,000部 2.「社協だより」　(５回)　75,000部 3.ポスター　2種　550枚 ①会員・会費増強ポスター　350枚 ②いきいき大学PRポスター　200枚 4.ホームページ（月2回程度更新）

事　　項	実施月	事　業　活　動　の　内　容
		5.広報みたか、コミュニティセンター広報紙に随時掲載
４．各種貸付金		
1.生活福祉資金貸付金	随時	民生委員の実態調査に基づき、本会及び東社協による貸付審査の決定により、低所得世帯の自立更生を目的に修学資金、身体障害者自動車購入資金、療養資金、離職者支援資金等の貸付を行いました。 (1)生活福祉資金貸付　37 件　貸付金額　17,596,000 円 ①新規貸付　10 件　貸付金額　5,510,000 円 ②継続貸付　27 件　貸付金額　12,086,000 円 (2)離職者支援資金貸付　0 件　貸付金額　0 円 (3)長期生活支援資金貸付　2 件　貸付金額 3,000,000 円 ①新規貸付　1 件　貸付金額　1,200,000 円 ②継続貸付　1 件　貸付金額　1,800,000 円 (4)緊急小口資金貸付　0 件　貸付金額　0 円
2.応急援護資金貸付金	随時	生活保護世帯を除く低所得世帯における、不測の緊急事態に対する小口貸付制度で、民生委員の調査により 10 万円(特別枠 20 万円)を限度に貸付を行いました。 (件数　52 件　貸付金額　3,806,000 円)
3.社会福祉事業資金貸付金	通年	社会福祉施設の運営資金としての貸付を行うものです。 (件数　0 件　貸付金額　0 円)
4.奨学資金貸付金		
1.修学資金貸付金	通年	高等学校に進学を希望する者で中学校長の推薦を得たものに対し、家庭状況、経済状況を基準に選考委員会で選考し決定します。 ・私立高校　月　15,000 円以内 ・公立高校　月　7,000 円以内 (件数　0 件　貸付金額　0 円)
2.入学支度金貸付金	3 月	上記選考により貸付決定を受けた者で希望する者に対し、一時金として公立高校入学者に 100,000 円以内、私立高校入学者に 250,000 円以内を貸付けます。　(本年度実績　0 円)
５．児童福祉		
1.子ども会助成	9 月	三鷹市子ども会連合会に登録する地域子ども会の活動費の一部を助成し、育成に協力しました。 (14 団体　助成総額　175,000 円)
2.三鷹市子ども会連合会助成	9 月	連合会事業に伴う活動資金の一部を助成しました。 (1 団体　助成額　30,000 円)
3.子どもまつり後援	5 月	第 29 回みたか子どもまつりを後援し、同実行委員会に対し、運営費の一部を助成する等協力しました。(助成額 5,000 円)

事　　項	実施月	事　業　活　動　の　内　容
4.一日里親行事援助	11月25日	三鷹市赤十字奉仕団による朝陽学園児童に対する一日里親行事として、「上野動物園」にて交流会が実施され、本会はこれに助成しました。 (園児数 34名　団員 38名　助成額 120,000円)
5.小中学生補習教室参加者援助	通年	生活保護世帯の小学生(3 年～6 年)及び中学生で補習教室に参加する希望者に対し受講料を助成しました。 (生徒数　23名　助成総額 1,565,500円)
6.入進学祝品の支給	H19年2月	生活保護世帯の小学校1年に入学する児童に対しランドセルを、中学校1年に入学する生徒には、学用品等購入費として7,000円を援助しました。 (生徒数　35名　助成総額　375,200円)
7.交通遺児援護金	通年	低所得世帯の交通遺児(18歳未満)に対し援護金を支給するものです。　(本年度実績　0名　0円)
8.学童保育事業	通年	1.三鷹市学童保育所条例に基づき、三鷹市より指定管理者として指定を受け学童保育所を運営し、1 年生～3 年生(障がい児は4年生)の児童を保育しました。保育時間は放課後から午後6時まで。また、平成19年1月15日から3月30日までの間、午後7時までの緊急延長保育を実施しました。 平成19年3月末現在の在籍児童数は次のとおりです。 一小A　35人　五　小　58人　南浦小B　34人 一小B　38人　六　小　73人　中原小A組 48人 二小A　54人　七　小　53人　中原小B組 34人 二小B　53人　大沢台小　41人　北野小　59人 三小A　48人　高山小A組 56人　井口小　47人 三小B　45人　高山小B組 34人　東台小　52人 四　小　48人　南浦小A　35人　羽沢小　51人 (定員数　1,100人　在籍数 996人) 2.本年度も6ヵ所の学童保育所で障がい児保育を実施し、状況により4年生まで受入れを行いました。
9.団体助成	9月	三鷹市助産師会　100,000円
10.子育て支援事業	毎月 第 1・3 月曜日	三鷹市助産師会が主催する出産、分娩、育児などの相談とお母さん同士のおしゃべりサロン「助産師と一緒に赤ちゃんと遊びましょう」を共催し、運営費の一部助成も増額しました。 (実施日　毎月第1・3月曜日　助成総額　100,000円)
11.異世代交流事業	毎月第 3・4 日曜日	老人福祉センター囲碁・将棋利用者の協力を得て、市内の小学1 年生～4 年生の児童との対局を通じて異世代交流を行いました。　(実施回数　延べ14回) (参加者数　将棋教室151名、囲碁教室　58名)

事　　項	実施月	事　業　活　動　の　内　容
６．心身障がい者福祉		
1.団体助成	5月～3月	1.三鷹市身体障害者福祉協会　320,000円 2.心身障害者(児)親の会、心身障がい者育成会、視力障がい者協会、パーキンソン病友の会、あおき会、サタディ学級、聴覚障害者協会　各　100,000円 3.わたしたちのいえかごめかごめ　60,000円 4.三鷹木の実保育園　30,000円
2.身体障がい者レクリエーション	11月2日	「広報みたか」で参加者を募集し、バス2台に分乗し、神奈川県江ノ島方面への日帰り旅行を実施しました。 （参加者 身障者 51名 付添 21名 ボランティア 3名 保健師 1名 手話通訳 2名 総額 678,335円）
3.心身障がい者通所助成事業	通年	授産施設等に通所し、自立生活の実現のために学習する心身障がい者に対し、通所助成費の一部として市内1,000円・市外1,200円（月額）の助成金を支給しました。 （対象者　79名　12施設　経費総額　906,600円）
７．高齢者福祉		
1.老人クラブ助成	5月～10月	老人クラブが行う行事に対し、運営費とは別に三鷹市受託事業として会員数に応じた6段階の助成金を100人未満のクラブには、年1回13,000円、100人以上のクラブには18,000円を助成しました。　（全34クラブ　助成総額　477,000円）
2.三鷹市老人クラブ連合会助成等	通年	1.三鷹市は、市老連芸能大会に370,000円、市老連文化祭に170,000円、モデル老人クラブ推進費100,000円を助成しました。 2. 本協議会では、運営費80,000円を助成しました。老人福祉担当職員を市老連担当にあて事務等に積極的な協力を行っています。また、東京都、東老連が主催する行事への参加等関係機関との連携、協力に努めました。
3.敬老のつどい	9月16・17日	満77歳以上の市民を公会堂に招待する「敬老のつどい」を9月16日～17日の2日間、市内を対象者が平均化するように地域を区分し、午前・午後の3回に分けて実施しました。「つどい」は、式典と演芸に分け、式典では市長、会長の代表として市長挨拶、市議会議長、都議会議員からのお祝いの言葉があり、市民ひろばでは種々の模擬店が、民生委員、ボランティアグループ、市内の全中学校生徒のボランティアにより行われました。 対象者　11,224人　実参加者　3,401人 大　沢 235人　深大寺 177人　井　口 226人 野　崎 122人　上連雀 639人　下連雀 766人 井の頭 282人　牟　礼 305人　北　野 75人 中　原 293人　新　川 281人

事　　項	実施月	事　業　活　動　の　内　容
4.老人レジャー農園の運営	通年	1.三鷹市老人レジャー農園事業運営要綱に基づくこの農園は、本協議会が昭和47年度に三鷹市より運営委託され、計527区画を運営しています。利用者は、満60歳以上の市民で一世帯１区画となっています。 2.各農園の区画数は次のとおりです。 (1) 牟礼二丁目ﾚｼﾞｬｰ農園　76区画 (2) 牟礼五丁目ﾚｼﾞｬｰ農園　95区画 (3) 上連雀第1ﾚｼﾞｬｰ農園　137区画 (4) 上連雀第3ﾚｼﾞｬｰ農園　84区画 (5) 新川ﾚｼﾞｬｰ農園　45区画 (6) 北野二丁目ﾚｼﾞｬｰ農園　87区画 （合計区画数　527区画）
5.いきいき大学の開催	5月～8月	老後の生活を豊かにする前提は、まず心身の健康からという観点から、ねたきりや認知症等の老化予防に重点をおいた実践的講座（全12回）を開設しました。 （受講生 78人　延受講生 704名　経費総額 430,746円）
6.歩数計交付事業	11月	もっとも手軽で安全な健康法と言われる「歩く運動」を奨励するため、三鷹市広報で募集し、歩数計を交付しました。歩数計の交付を受けた方は、18年間で3,800名余に達しました。なお、この内、346名の方が1,000万歩を達成しました。 （交付数　101個　経費総額　257,274円）
7.自主グループ育成助成事業	7月	いきいき大学の卒業生を中心に健康保持の活動とボランティア活動を行う自主グループに対し助成を行いました。 ・太極拳グループ　2団体 ・いきいきコーラス　1団体 ・俳句会　1団体　（助成総額　40,000円）
8.車椅子の貸出し	通年	三鷹市民で貸出しを希望する本人又は家族に1ヶ月ごとに更新し、3ヶ月を限度に無料で貸出しました。 （貸出し件数　229件）
9.家族介護者交流事業	11月29~30日 H19 2月20日	1.介護者のつどい 寝たきりのお年寄りを介護している方を対象として「介護者のつどい」を開催し、愛知県笹戸温泉へ一泊旅行を実施し、リフレッシュと共に介護者同士の交流を行いました。 （参加者　40名） 2.介護者移動談話室 宿泊が困難な介護者が参加しやすいよう、日帰りのレクリエーションとして、箱根方面にて、とらや羊羹工場見学、「みたか荘」での昼食と入浴を楽しみ、介護者同士の交流を図るとともに、日ごろの介護の疲れを癒すための内容で実施しました。 （参加者　54名）

事　　項	実施月	事　業　活　動　の　内　容
	年4回 7月12日 9月19日 11月15日 3月8日	3.介護者談話室 在宅で高齢の家族を介護している方に対する介護者同士の交流、介護技術の学習、情報提供の場として介護者談話室を開催しました。 なお、より参加しやすい開催方法として地域開催も行いました。 (1) 介護者談話室第1回地域開催（上連雀通北地区公会堂） ほのぼのネット上連せせらぎ班との共催で、介護者同士の交流と相談会（介護保険・市制度、介護用品）を行いました。 （参加者　57名） (2)介護者談話室中央開催（三鷹市福祉会館） 認知症に関する勉強会、介護者同士の交流及び介護用品展示会を行いました。　（参加者　55名） (3)介護者談話室第2回地域開催（井の頭地区公会堂） ほのぼのネット井の頭さくら班との共催で、介護者同士の交流と相談会（介護保険制度、介護用品）を行いました。 （参加者　30名） (4)介護者談話室第3回地域開催（三鷹駅前CC） ほのぼのネット下連1･2、下連3･4班との共催で、介護者同士の交流と相談会（介護保険制度、介護用品）を行いました。 （参加者　47名） 4.介護者談話室企画委員会 家族介護者支援事業の円滑な運営を図ることを目的として関係機関、関係団体の協力を得て、談話室企画委員会を設置し、「介護者のつどい」及び「介護者談話室」の企画・運営にあたりました。　・開催回数　6回　（経費総額　2,034,241円）
10.権利擁護センターみたか	通年	1.三鷹市より受託運営の権利擁護センターでは、高齢者や障がい者の方の権利擁護や苦情調整に関する総合相談、成年後見制度の利用支援の相談を行いました。また、福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業：東京都社会福祉協議会より基幹社協として受託）では、福祉サービスを適切に利用するための援助、利用者の日常的な金銭管理や書類等の預かりサービスを行いました。 ・センターへの相談件数　1,782件（内新規89件） ・専門相談件数　39件 （成年後見制度関係　15件） （権利擁護・苦情調整・法律一般関係　24件） ・福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業） （継続25件、新規契約8件、解約3件、 H18年3月末現在　契約30件）

事　　項	実施月	事　業　活　動　の　内　容
	10 月～12 月 H19 2 月 24 日	2.成年後見制度ミニセミナー（基礎編） 地域包括支援センターとの連携の一環として、相談員を対象に「成年後見制度ミニセミナー」を開催しました。 （受講者　12 名） 3.市民ふくし講座 権利擁護事業の普及宣伝として、成年後見制度や財産管理・遺言に関する「市民ふくし講座」を開催しました。 テーマ:「私らしく暮らす老い支度―成年後見・遺言活用」 （受講者　43 名）
８．ひとり親福祉		
1.ひとり親家庭レクリエーション	8 月 26 日	ひとり親家庭レクリエーション行事として、バス２台に分乗し富士急ハイランドに日帰り旅行を実施しました。 （参加人員　76 人　　経費総額　544,604 円）
９．法外援護		
1.見舞金品の支給	12 月	1.生活保護 居宅世帯　(1,678) 6,712,000 円 2.　〃　一般病入院者　(4)　16,000 円 3.　〃　精神病入院者　(34)　136,000 円 4.身障施設入所者　(33)　132,000 円 5.老人施設入所者　(19)　76,000 円 6.救護施設入所者　(15)　60,000 円 7.就学援助世帯　(994) 3,976,000 円 8.物品引換券代　6,000,000 円 （援護費：17,108,000 円、事務費：333,974 円） （経費総額　17,441,974 円）
2.緊急法外援護	随時	低所得者で緊急に援護を要する状況にある者に対し、交通費や食事代等として支給しました。 （要援護者　18 人　経費総額　31,210 円）
10．福祉啓発事業		
1.福祉映画会	H19 1 月 21 日	福祉啓発事業の一環として、三鷹市公会堂ホールにおいて三鷹市ボランティア連絡協議会との共催で、第１１回福祉映画会を開催し、映画「博士の愛した数式」の上映（午前・午後 2 回）を行いました。 この映画は、80 分しか記憶がもたない天才数学博士と、家政婦とその 10 歳の息子の、驚きと喜びに満ちた日々を描いた作品で、市民の福祉への関心を高めることができました。 （参加者　734 名　経費総額　425,867 円）

事　　項	実施月	事　業　活　動　の　内　容
2.福祉バザー	10月1日	福祉啓発と福祉活動への参加協力を目的とする第28回福祉バザーは、晴天に恵まれ、来場者・協力者を合わせて約600名の方々の参加を頂きました。社協事業として広く市民の間に定着し、啓発・福祉活動への理解が得られました。民生児童委員、ボランティア（グループ）、福祉団体、東京土建三鷹支部等多数の方々から協力を得られました。 （総売上額 1,363,632円　内社協ｺｰﾅｰ200,491円）
11．社明運動		
1.社会を明るくする運動	7月 11月	1.　法務省が主唱し、各市町村長が実施委員長となって保護司会の協力を得て全国的に行われた第56回「社会を明るくする運動」（青少年非行化防止）には、本会会長も委員として参加のほか経費の一部を助成しました。（助成額　40,000円） 2.社会を明るくする運動の一環でもあり、本協議会の独自の活動として、保護司会と協働して在監者等の社会復帰、自立更生への支援をしました。　（経費総額　28,116円）
12．福祉団体助成		
1.育成助成金支給	5月 8月	1.三鷹市の福祉をすすめる女性の会　120,000円 2.みたかハンディキャブ　30,000円 3.三鷹市遺族会　110,000円
13．ふれあいのまちづくり事業		
1.ふれあい福祉相談センター ［こころの相談室］	毎週火･水曜日、午後1時～3時 H19年 2月25日	1．精神的な悩み事の相談として、専門相談員が援助・指導を行いました。　（相談件数　延べ187件） 2．こころのレッスン 「こころの相談室」広報普及宣伝事業の一環として、こころの健康の大切さやこころの問題をひとりで抱え込まないよう啓発を目的として「こころのレッスン」を開催しました。 テーマ「コミュニケーションに生かす心理学 ～性格タイプとコミュニケーション～」 （参加者　27名）
2.ほのぼのネット事業	通年	1.小地域で住民が、高齢者・障がい者等のニーズを発見して解決していくボランティア活動で、各団体及びボランティアを「ほのぼのネット員」に委嘱し、担当地区の見守り、ふれあい活動を推進しました。　（H19年3月末現在　473人） (1)ふれあいサロン活動　開催回数　延べ182回 (2)　〃　参加者数　延べ3,351名 2.ほのぼのネットは、以下のように地区を指定し、活動の定着と発展を図り、各班に活動費を助成しました。 (1)井の頭班　井の頭一・二丁目 (2)井の頭さくら班　井の頭三～五丁目 (3)牟礼東班　牟　礼一・二丁目

事　　項	実施月	事　業　活　動　の　内　容
		(4)たかやま班　　牟　礼三・四丁目 (5)牟礼第一班　　牟　礼五～七丁目 (6)きたの班　　北　野　全　域 (7) 新川班　　新　川一・四・五丁目 (8) 丸池班　　新　川二・三丁目 (9) 新川６丁目班　　新　川　　六丁目 (10) 中原班　　中　原一・二丁目 (11) 中原コスモス班　　中　原三・四丁目 (12) けやき班　　上連雀一～三丁目 (13)上連せせらぎ班　　上連雀四・五丁目 (14)下連雀１・２班　　下連雀一・二丁目 (15)下連雀３・４班　　下連雀三・四丁目 (16)上連雀６・７班　　上連雀六・七丁目 (17)山中班　　上連雀八・九丁目 (18)下連ひまわり班　　下連雀五・六・八丁目 (19)なでしこ班　　下連雀七・九丁目 (20)野崎１・２班　　野　崎一・二丁目 (21)野崎西班　　野　崎三・四丁目 (22)井口東班　　井　口一・二丁目 (23)井口西班　　井　口三～五丁目 (24)深大寺北班　　深大寺一・三丁目 (25)深大寺班　　深大寺　　二丁目 (26)大沢わかば班　　大　沢一・二丁目 (27)のがわ班　　大　沢三・六丁目 (28)大沢班　　大　沢四・五丁目 3.情報交換及び全体的な活動を推進するため会議・研修を開催しました。 (1)ほのぼのネット員新任研修 平成１６年４月１日以降に委嘱したほのぼのネット員を対象に、活動の概要説明と市内の福祉施設見学を行いました。(出席者総数　45名) (2)正副班長会（年３回) (3)ほのぼのネット員研修 ・気軽にできる介護予防①　　(参加者56名) ・「老人性うつ」と「認知症」　　(参加者101名) ・三鷹で暮らす　障がいを持って暮らす　(参加者33名) ・「今どき」の子育てと子育て支援　　(参加者42名) ・気軽にできる介護予防②　　(参加者69名) (4)ほのぼのネット員交流会 ネット員同士の交流と情報交換を目的に行いました。また、

事　　項	実施月	事　業　活　動　の　内　容
		担当地域の地域包括支援センター、在宅介護支援センターから各センターの役割などを説明してもらい、交流を図りました。 ・第１回（参加者６２名） ・第２回（参加者６５名） ・第３回（参加者５７名） ・第４回（参加者４５名） 4.コミュニティまつりの参加 住民協議会主催の「コミュニティまつり」に担当地区のネット班が参加し、地域住民に活動を PR しました。　（６地区）
3.高齢者デイホーム事業	毎月６回（第1～4 水曜日と第2･4月曜日）	軽度の障がいがある 60 歳以上の高齢者の生き甲斐と健康維持および､家族の心身の負担の緩和を目的としてデイサービス事業をボランティアグループ「亀の会」の協力を得て実施しました。 ・実施回数　61 回（延 1,139 人） ・参加者　延 306 人 ・ボランティア　延 833 人
4.福祉施設地域福祉活動助成事業	通年	在宅福祉活動の推進には、老人福祉施設との連携が不可欠であり､｢ふれあいのまちづくり事業｣の効果的運営を期するため、弘済ケアセンター・恵比寿苑と事業契約し、施設機能の提供等による住民向け在宅福祉推進事業活動について一定の助成を行いました。　(2 施設　助成総額　100,000 円)
14.ボランティア関係事業		
1.ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動推進協議会等	年７回	1.ボランティア活動に関する事業計画、予算、その他通常業務についての検討審議をしました。　(開催回数　7 回) 2.部会の開催 (1)市民啓発部会　4 回開催 (2)養成研修部会　5 回開催 3.管外視察研修 「三鷹市市民協働センター」の視察見学および企画運営委員との懇親会を実施しました。(参加者　13 人)
2.啓発事業	通年 年４回 毎月 各年１回	1.　ボランティア活動の普及宣伝 (1)定期刊行物 ①「ボランティア広場」の発行　4 回　60,000 部 ②ボランティアミニミニ広場の発行　12 回　45,600 部 町会、自治会、ボランティア、市民団体、その他公共施設等に配布しました。 (2)不定期刊行物 ①ボランティア NPO ガイド 2006　1,700 部 ②ふれあい秋まつり 2006 小冊子　500 部

事　　項	実施月	事　業　活　動　の　内　容
	8月～9月	③「小中学生ボランティア活動作品」絵ハガキ　3,500部 ④その他チラシ・ポスター作成 (3)小中学生ボランティア活動作品募集 小中学生1,329人がポスターや標語部門に応募しました。 ①応募者等　応募者総数　1,329人 ・小学生　1,328人　・中学生　1人 ・ポスター　70点　・標語　1,259人 ②入選 ・最優秀賞　ﾎﾟｽﾀｰ　4点　標語　4点 ・優秀賞　ﾎﾟｽﾀｰ　10点　標語　20点 (4)ボランティア活動キャンペーン 新川中原、大沢、牟礼、連雀、駅前,井口のコミュニィセンターまつり等に参加し、ボランティアセンターの活動等をＰＲしました。 実施場所 ・新川中原ＣＣ　2日間　H18. 4.15～16 ・大沢ＣＣ　2日間　H18. 5.27～28 ・いちょう苑フェスタ　1日間　H18. 9.10 ・国際交流フェスティバル　1日間　H18. 9.24 ・井の頭ＣＣ　2日間　H18.10.21～22 ・連雀ＣＣ　2日間　H18.10.21～22 ・駅前ＣＣ　2日間　H18.10.28～29 ・牟礼ＣＣ　1日間　H18.11.12 ・井口ＣＣ　2日間　H19. 3.24～25
3.調査研究事業	4月	1.ボランティア活動の状況について調査しました。 (1)個人登録の調査 個人登録ボランティア　761名 (2)グループ登録の調査 ボランティアグループ　57団体 (3)市内受入れ施設等調査　72個所 (4)ＮＰＯ法人活動状況調査　29団体
4.ボランティア講座	6～10月	1.　ボランティア養成講座を次の通り開催しました。 (1) ボランティア実践講座（3種類） ①朗読ボランティア養成講座（全10回） ボランティアグループ「ういろうの会」の協力を得て実施しました。 ・会　場　ボランティアセンター ・実参加者　25人 ・延参加者　222人

事　　項	実施月	実施月
	H19年 1月～ 3月	②カウンセリング基礎講座　（全5回） カウンセリング自主講座グループの協力を得て実施しました。 ・会　　場　　ボランティアセンター ・実参加者　　26人 ・延参加者　　100人
	H19年 2月～ 3月	③精神保健ボランティア講座　（全5回） ボランティアグループ「おいしい会」と「ほのぼのふらっとCafé」の協力を得て実施しました。 ・会　　場　　ボランティアセンターほか ・実参加者　　13人 ・延参加者　　74人
	7月～ 9月	(2)夏！体験ボランティア inみたか 東京ボランティア・市民活動センターと共催で、高齢者施設・障がい者施設・保育園・学童保育所・ボランティアグループ等の協力を得て実施しました。 ・実参加者　　158人 ・実施期間　　各受入れ先でボランティアと協議により定めました。
	7月31日	(3)先生向けボランティア講座 市内在勤の先生を対象にして、ボランティア等について理解を得ることを目的に、疑似体験を含めた内容で実施しました。 ・会　　場　　福祉会館 ・実参加者　　14人
	H19年 3月26･27日	(4)小・中学生ボランティア体験学習（全2回） 街かど自立センター・手話サークル鷹の会・三鷹市聴覚障害者協会の協力を得て実施しました。 ・会　　場　　街かど自立センター ボランティアセンター ・実参加者　　25人 ・延参加者　　40人
	4月～ H19年3月	(5)ボランティア入門講座「はじめよう、ボランティア！」 ボランティア活動をはじめるきっかけづくりを目的に、毎月ボランティアセンターや地域のコミュニティセンターで実施しました。 ・実参加者　　30人 ・会　　場　　ボランティアセンター、地域のコミュニティセンター
	5月～11月	(6)さわやか・ゆめ体操ボランティア養成講座（全10回） ボランティアグループ「さわやか・ゆめ体操元気会」と共催で、介護予防体操を地域や施設に広めていくことを目的に、ボ

事　　項	実施月	実施月
		ランティア養成講座を実施しました。 ・会　　場　　ボランティアセンター ・実参加者　　25 人 ・延参加者　　206 人
	10 月～11 月	(7)子育て応援ボランティア入門講座（全 5 回） ボランティアグループ「子育てヘルパー遊☆きっず倶楽部」と共催で、子育て支援ボランティアの養成を目的に、講座を実施しました。 ・会　　場　　ボランティアセンター、市民協働センター ・実参加者　　19 人 ・延参加者　　85 人
	H19 年 2 月 16 日	(8)ブロック共催事業（全 1 回） フォーラム～誰だって初心者！知りたい奉仕体験活動～ 近隣五市（調布市、府中市、狛江市、小金井市）ボランティア・市民活動センター、東京ボランティア・市民活動センター共催で、都立高校の奉仕体験活動に関するフォーラムを実施しました。 ・会　　場　　三鷹駅前コミュニティセンター ・実参加者　　54 人 （一般：30 人、出演者：10 人、主催者：14 人）
	H19 年 3 月	(9)災害ボランティア養成講座（全 3 回） 災害時に備えセンターと地域とを結ぶ役割を担うボランティアリーダーを養成し、既存の防災組織との連携を図っていくことを目的に、講座を実施しました。 ・会　　場　　ボランティアセンター ・実参加者　　29 人 ・延参加者　　75 人
	平成 19 年 3 月 18 日	(10)ボランティアマネジメント講座（全 1 回） 市民活動者を対象に、マンネリズムに陥った際の活動方法に関する講座を実施しました。 ・会　　場　　ボランティアセンター ・実参加者　　25 名
5.傾聴ボランティア事業	9 月 7 日～ 11 月 11 日	1.傾聴ボランティア養成講座（全 20 回） 三鷹市からの受託により、NPO 法人ホールファミリーケア協会の協力で開催しました。 ・会　　場　　福祉会館、公会堂別館、第 2 庁舎 ・実参加者　　54 名（修了者 53 名：ボランティア員登録） ・延参加者　　1,015 名

事　　項	実施月	事　業　活　動　の　内　容
	平成19年 1月11日 1月～3月 1月～3月	2.班リーダー会議 ボランティア員を4班に分け、各班のリーダー（1名）・サブリーダー（1名）による会議を開催しました。 3.班会議 各班が当面の活動(高齢者4施設での実習)、日程調整の確認、情報交換等の会議を開催しました。 4.傾聴ボランティア活動（高齢者施設での実習） ・1班：いちょう苑　延べ35名 ・2班：はなかいどう　延べ26名 ・3班：けやき苑　延べ34名 ・4班：弘済ケアセンター　延べ61名
6.電話訪問事業	毎週月･金曜日の午前･午後の4班と毎週水曜日の午前班で実施　計5班 毎月第2木曜日 7・12月末	1.６５歳以上の一人暮らし老人で電話訪問を希望する方に対し、ボランティアセンターからボランティアが安否確認と孤独解消を目的に電話訪問を行いました。 ・対象者　１０２人 ・ボランティア　１９人 ・実施延回数　２３９回 ・延ボランティア出務人数　８３４人 ・延対象者訪問回数　３，９５７回 2.電話訪問員の学習および情報交換のため、月例会を開催しました。(開催回数　１０回) 3. 7月は、暑中見舞いを送り、年始に年賀状による交流を行いました。　・延対象者　102人
7.援護事業	通年	録音テープ発受事業をボランティアグループ「ういろうの会」の協力を得て実施しました。 ・対象者　37人 ・延発送回数　86回 ・延発送本数　2,060本
8.ふれあい秋まつり 2006(福祉の街づくり市民のつどい)等行事の開催	11月26日	1.　ふれあい秋まつり2006（第23回福祉の街づくり市民のつどい)ボランティアグループを中心に市民活動団体も加え、各々の活動紹介を通して、市民参加を呼び掛け、市民ぐるみのボランティア活動を通じて地域福祉の充実を目標とする「つどい」で実行委員会を６回開催、本年度は次のとおり実施しました。 (1)主　催　三鷹市社会福祉協議会 (2)共　催　三鷹市東部地区住民協議会 (3)実施主体　ふれあい秋まつり2006実行委員会 (4)後　援　三鷹市ボランティア連絡協議会 (5)会　場　牟礼コミュニティセンター (6)催し内容

事　　項	実施月	事　業　活　動　の　内　容
		①ボランティアグループ・市民活動団体等活動紹介 「安全安心のまちづくりコーナー」開設 ②吹奏楽演奏(市立六中) ③体験コーナー（車イス、パソコン、録音、刺し子、折り紙、ネイルアート体験等） ④各種イベント（牟礼、新川囃子・手話教室・介護予防体操・聴覚協寸劇、キッズダンス、よさこいソーラン等） ⑤講演「笑いがニッポンを救う」(江見　明夫氏) ⑥講演「昔の智恵を街づくりに活かそう！」(白石　正明氏) ⑦喫茶「交流広場」(街かど喫茶) ⑧模擬店（7 店舗） ⑨ふろしき市（11 区画） ⑩煙体験ハウス、シートベルト・エアバック衝撃体験 ⑪ウォークラリー（景品付き）　参加者 214 人 ・延参加者　721 人
	5 月 13 日	2.　（第３回）セカンドライフのつどい２００６ シルバー人材センター、いきいきプラス、わくわくサポートとの共催、三鷹市の後援により開催し、これから定年を迎える方々を対象に、定年後の生き方のひとつとしてボランティア活動への参加を 6 団体が呼び掛けました。　（参加者 131 人）
	8 月 5 日	3.ボランティアのつどい～納涼まつり～ ボランティアセンターの前庭を会場にバザー、模擬店、映画会等を催し、一般市民とボランティアの交流、親睦を深め、ボランティア活動への理解と協力を呼び掛けました。(参加者 726 人)
	H19 2 月 3 日	4.ボランティアのつどい～新春交流会～ ボランティアセンターの前庭を会場に、もちつき、模擬店、バザー等を催し、主にセンター近隣の住民と交流を深め、センターへの理解とボランティア活動への参加を促すために実施しました。　（延参加者　424 人） 5.みたか子育てひろば 平成 18 年度は開催しませんでした。
9.ボランティア活動普及協力校助成事業	通年	1.児童・生徒のボランティア活動普及協力校として次の小、中学校を指定しました。 (1) 三鷹市社協の単独指定 ①小学校・市立第一小学校　・市立第四小学校 ・市立第五小学校　・市立第六小学校 ・市立羽沢小学校　・市立中原小学校 ・市立東台小学校　・市立高山小学校 ②中学校・市立第七中学校

事　　項	実施月	事 業 活 動 の 内 容
		(2)助成金交付額　　9 校　　450,000 円
10.ボランティアグループ助成事業	6 月	ボランティア活動の活性化を図るため、申請のあるｸﾞﾙｰﾌﾟに対して、運営費の一部を助成しました。 ・16 団体　　700,000 円
11.ボランティア保険の加入	通年	ボランティア活動中における事故発生に対する保障としてボランティア保険に加入しました。 2,223 人
12.交流事業	毎月第 4 土曜日	1.　三鷹ボランティア交流会 地域福祉団体がボランティア活動の発表、情報交換等を行うとともに、宿泊研修、施設見学を実施しました。 ・実施回数 6 回　（延参加者　120 人） ・宿泊研修 1 回(浜松市・奥浜名湖方面、参加者　27 人) ・施設見学 1 回(介護老人保健施設「太郎」参加者 20 人) 2.配達ボランティア懇談会 広報紙等の配達・発送ボランティアによる意見交換及び情報交換会を 1 回開催しました。　（参加者　11 人 ）
13.センター運営事業	通年 H18.2～ H19.1 毎週木曜日	1.ボランティアセンターの利用状況 (1)登録者　　4,254 人 ・個人　　769 人 ・登録団体　48 団体 2,419 人 ・協力団体　17 団体 1,066 人 (2)センター利用者　延　17,765 人 ①個人　延　5,914 人 ②部屋利用　延　11,851 人 (1,057 件) ③一日平均　57.3 人 ④一日平均グループ　3.4ｸﾞﾙｰﾌﾟ (3)ニード及びボランティア派遣状況 ①ニード数　3,220 件 ②対応件数　3,215 件　派遣人数 4,366 人 2.木曜サロンの運営等 特技はないがボランティア活動をしたい方々の要望を受けて発足し、ボランティアセンター福祉ショップへの作品製作の外、使用済み切手の整理等の活動をしました。 ・延実施回数　46 回 ・延参加者　459 人 また、古切手は、青梅市内の盲老人ホーム「聖明園」に寄贈しました。 ・普通切手及び記念切手　約　70 kg ・使用済テレホンカード等　145,903 枚

事　　項	実施月	事　業　活　動　の　内　容
	通年 毎月第2日曜日	3.福祉ショップの運営 　ボランティア及びボランティアグループ、老人、障がい者、市民が作った品物を販売しました。また、販売については、各種バザー等のイベントにもボランティアが出張して販売(売上額253,940円)しました。 　・販売点数　1,402点　　・総売上額　639,910円 4.ふろしき市への協力 　ボランティアセンター前庭を会場に「ふろしき1枚」を一区画として、ボランティアグループ、福祉団体が出品して、活動資金の造成と住民とのふれあい、交流を通して「福祉の風土づくり」を進めています。ボランティアセンターは、この活動に参加する諸団体等の活動調整等に協力しました。 　・延開催回数　9回　　・延出店数　109店 　・延区画数　132区画
14.ボランティアコーナー	通年	コミュニティセンター内の「福祉ボランティアコーナー」では、市民への福祉の関心を高め、理解と参加を促すため地区活動拠点として、個人ボランティアの活動の「場」を提供し、福祉ショップを開設するとともに古切手収集の外、テレホンカード、ロータスクーポン、ベルマークなどの寄贈を受けました。 ①新川中原ｺｰﾅｰ　毎週火・金曜日午前10時～午後4時 （平成18年10月～19年2月、工事のため閉所） ②連　　雀ｺｰﾅｰ　毎週火曜日　　午前10時～午後4時 ③大　　沢ｺｰﾅｰ　毎週木曜日　　午前10時～午後4時 ④牟　　礼ｺｰﾅｰ　毎週木曜日　　午前10時～午後4時 ⑤井　　口ｺｰﾅｰ　毎週火曜日　　午前10時～午後4時 ⑥三鷹駅前ｺｰﾅｰ　毎週木曜日　　午前10時～午後4時 ボランティアコーナー福祉ショップ総売上額351,320円
15.市民カフェの運営	通年	平成19年3月26日、三鷹市社会福祉協議会（ボランティアセンター）とボランティア連絡協議会の協働事業として、市民センター公会堂別館の施設内にボランティアによる市民交流カフェ“Ｃ－Ｃafé”がプレオープンしました。
15.献血推進事業		
1.献血推進活動	通年	1.町会、自治会、商店会、会社及び学校等の協力と赤十字奉仕団、ボランティアの奉仕活動により献血実施に協力しました。平成18年度の実績は次のとおりです。 (1)会場数　63ヵ所 (2)受付人数　4,524人 (3)採血人数　3,475人 (4)延奉仕者数　143人

事　　項	実施月	事　業　活　動　の　内　容
		2.献血推進協議会 献血推進のため、啓発宣伝、献血会場の確保、献血デーの開催等について、意見交換、情報交換を行うため、本年度は 2 回開催し、19 年 3 月に委員・奉仕団の協力により新たに三鷹駅前南口で献血を実施しました。 ・愛の献血デー実績　受付 49 人　　採血者 37 人 （H18 新規実施場所：三鷹駅南口）
16.一円硬貨募金		
1.一円硬貨募金	通年	本会事業運営資金の造成と老人クラブ等の社会奉仕、社会参加活動の一環として実施していますが、老人クラブ連合会、単位老人クラブの積極的協力を得て、市民への働きかけの結果､総額 443,913 円が寄せられました。
17.原爆被爆者援護等		
1.見舞金支給	8 月	原爆に被爆された方で、特別手当を受給されている市民に対し、年１回見舞金として１人 2,000 円を贈りました。 ・対象者　　124 人 ・総額　　253,690 円
2.団体助成	11 月	原爆被爆者を会員として組織している「三友会」に対し活動費の一部として、年額 110,000 円を助成しました。
18.施設助成		
1.施設助成費	H19.3 月	私立保育園、養護施設及び作業所等に対し、運営費の一部として助成を行いました。 ・18 施設　　総額　　830,000 円
2.運営費助成	8 月	歳末たすけあいの再配分として、作業所、保育園等の施設運営費の一部として助成を行いました。 ・28 施設　　総額　2,115,500 円
19.福祉会館管理運営		
1.福祉会館管理運営	通年	三鷹市より管理運営を受託されている福祉会館の平成 18 年度実績は次のとおりです。 1.利用状況 (1)老人福祉センター　　延 53,287 人 (2)会議室　利用者 28,716 人(903 件内有料 117 件) (3)月例検診　　136 人 2.会館行事 (1)緑陰行事　（レクダンスパーティー、囲碁・将棋大会、演芸大会、パターゴルフ大会） (2) 七夕祭り (3) 敬老週間行事　（レクダンスパーティー、囲碁・将棋大会、

事　　項	実施月	事　業　活　動　の　内　容
		演芸大会、パターゴルフ大会、お茶会、音楽会、書画作品展、折り紙作品展） (4)12 月行事　（クリスマス・レクダンスパーティー、ゆず湯） (5)新春行事　（囲碁・将棋大会、初釜、書道作品展） (6)早春行事　（雛祭りコーラスのつどい、演芸大会） 3.自主グループ活動 ボランティアの指導を受けながら、老人福祉センター利用者が自主活動を行いました。実績と延参加者は、次のとおりです。 種　別　人数　種　別　人数 (1)レクダンス　1,041 人　(9)ゴ ル フ　1,135 人 (2)民　謡　296 人　(10)書道(かな)　298 人 (3)謡　曲　410 人　(11)百人一首　142 人 (4)詩　吟　390 人　(12)カラオケ　842 人 (5)コーラス　384 人　(13)民　踊　522 人 (6)折　紙　61 人　(14)俳句　64 人 (7)茶　道　163 人　(15)歌　唱　350 人 (8)書道(漢字)　205 人 4.福祉会館ロビーの活用 前年より準備を進めてきたロビーの活用について、 ・平成 18 年 8 月より市内障がい者団体へ貸し出しを開始し、18 年度は 41 件の利用がありました。 ・バザーへの寄付として頂いた物品(帽子）の販売を行いました。
20.歳末たすけあい運動		
1.歳末たすけあい募金運動	12 月 1 日～12 月 31 日	1.三鷹市募金委員会と本会が実施主体となって、町会、自治会、民生・児童委員協議会、女性団体、ボランティアグループ、老人クラブ、事業所等の協力を得て実施しました。 (募金総額　6,650,458 円) 2.配分実績 配分については、理事会、配分委員会の承認を得て次のとおり配分しました。 (1)配分総額　6,650,458 円 内訳 ①地域福祉活動費(平成 19 年度執行）4,814,283 円 ②就学援助世帯(994 世帯)　1,491,000 円 ③事務費（平成 18 年度使用分）　345,175 円

事　　項	実施月	事　業　活　動　の　内　容
21.罹災家庭援護事業等		
1.罹災家庭援護事業等	通　年	火事により罹災した世帯に対し、人数に応じ見舞品として寝具を支給しました。 ・寝具支給世帯　　6 世帯に 9 組
22.介護支援事業		
1.介護支援事業	通　年	1.在宅介護支援センターの受託運営 在宅介護者等の総合相談窓口として、サービス利用のための手続き援助やサービス事業者等との連絡調整を行いました。 （年間相談者　延 4,062 人） 2.ホームヘルプサービス事業の受託運営 (1)生活支援ホームヘルパーの派遣 対象派遣人数　　延　13 人 派遣時間数　　136 時間 （経費総額 24,419,406 円）
2.家庭介護教室	9 月 13・20・27、10 月 4 日 全 4 回	在宅で寝たきりや認知症の家族を介護している方や、介護に関心のある方を対象に、「三鷹市の福祉をすすめる女性の会」と共催して「家庭介護教室」を実施しました。 ・延参加者　107 人　　（経費総額 97,620 円）
23.居宅介護事業		
1.居宅介護事業	通　年	介護保険の居宅介護支援事業所及び訪問介護事業所を開設し、ケアプランの作成とヘルパー派遣のサービスを提供しました。 (1)居宅介護支援事業 対象人数　　延　1,397　人 (2)訪問介護事業 〔要支援〕 派遣対象人数　　延　169　人 派遣時間数　　1,061.0 時間 〔要介護〕 派遣対象人数　　延　746　人 派遣時間数　　15,218.5 時間 （経費総額 56,965,186 円）
24. 障がい者自立支援事業		
1.障がい者自立支援事業	通年	障がい者自立支援制度のサービスとして、訪問介護事業所において、身体障がい者、知的障がい者へのガイドヘルパー派遣のサービスを提供しました。 また、居宅介護としてヘルパー派遣のサービスを提供しました。 (1)ガイドヘルパー派遣 〔視力〕

事　　項		実施月	事　業　活　動　の　内　容
			派遣対象人数　延　294　人 派遣時間数　4,483　時間 〔知的〕 派遣対象人数　延　51　人 派遣時間数　574　時間 (2)ヘルパー派遣 派遣対象人数　延　39　人 派遣時間数　451　時間 （経費総額 7,851,282 円）